

松江市 報道機関配布資料

令和8年5月25日

【件名】

松江歴史館ミニ展示「土族の家計簿—三浦家の台所事情—」の開催

【開催日程】

■会 期: 令和8(2026)年5月26日(火)～7月26日(日)

■開館時間: 9:00～17:00

■休 館 日: 毎週月曜日(祝日の場合は翌平日が休館)

■会 場: 松江歴史館 展示ホール

■観 覧 料: 無料

【内容】

武士の生活が一変した明治時代、およそ三千の松江藩士も仕える主と俸禄を失い、「土族」と呼び名を変え、新たな収入の手立てを求めた。その一人、土族の三浦正祐は、廃藩置県後に官員となり、島根県から月給を得て一家を養ったが、長男周行が帝国大学を修了した直後に病没する。のこされた周行・鏝・廉作の三兄弟は、協力して三浦家を存続することを誓い、出納簿を作って家計の管理をはじめた。松江歴史館が所蔵する三浦周行家文書には、明治時代から大正時代までの家計簿がある。そこから明治時代の土族三浦家の台所事情をのぞいてみる。

展示資料: 三浦周行家文書(松江歴史館蔵)

【注目点】

小泉八雲が松江に滞在した前後の時代における、松江の土族の経済状況がうかがえる古文書を展示。

【問い合わせ】

文化スポーツ部 松江歴史館 担当: 笠井 電話: 0852-55-5511